



年末年始の食べ過ぎ・飲み過ぎで、胃の調子をおかしくしてしまった、という経験はありませんか？そんなとき市販の胃腸薬に頼る人も多いのではないのでしょうか。しかし、症状にあった製品を選ばないと、胃痛や胸やけの症状が逆に悪化してしまうこともあります。「有名だから」、「家族も飲んでるから」といった理由で薬を選ばず、自分の症状にあった薬を選びましょう。

■胃腸薬の作用■

胃腸薬には、制酸剤や健胃剤、消化剤など、様々な種類があります。総合胃腸薬と呼ばれる薬は、これらを組み合わせて配合したもので、その主成分によって期待される効果は異なります。成分の作用を把握して、症状にぴったりの胃腸薬を見つけましょう。



主な症状	薬の説明	こんな症状に
胸やけ・胃のむかつきには 胃酸を抑える《制酸剤》	過剰な胃酸(塩酸)を中和するアルカリ性の薬剤。炭酸水素ナトリウム(重曹)や合成ヒドロタルサイト、沈降炭酸カルシウムなどがあります。	胸やけ、胃のむかつき、膨満感、胃もたれ、げっぷ、吐き気、飲みすぎ、胃痛
食欲不振には 胃の機能を調整する 《健胃剤》	ショウキョウやウイキョウ、ケイヒなどの生薬成分が中心。その芳香や苦味、辛味で唾液の分泌を促す、胃液の分泌を盛んにする、消化器全体の運動を誘発するなどの作用があります。	食欲不振、胃部・腹部膨満感、消化不良、胃弱、食べすぎ、飲みすぎ、胸やけ、胃もたれ、胸つかえ、吐き気、嘔吐
消化不良には 消化吸収を促進する 《消化酵素剤》	タカジアスターゼやリパーゼ、ピオジアスターゼなどの消化酵素が炭水化物やたんぱく質、脂肪に働きかけ、消化吸収を促進します。	消化不良、食欲不振、食べすぎ、胃もたれ、胸つかえ、消化不良による胃部・腹部膨満感
胃の痛みには 胃腸の緊張を緩める 《鎮痛鎮痙剤》	胃の運動をコントロールする副交感神経に作用し、胃腸の過度な運動や緊張を緩め、痛みを和らげます。ブチルスコポラミンやロートエキスなどがあります。	胃痛、腹痛、さしこみ、胃酸過多、胸やけ
消化性潰瘍※には 粘膜の修復や合成を促進する 《胃粘膜保護剤》	傷口を覆って胃酸やペプシンが作用しないようにする薬。成分によって「胃粘膜強化作用」、「粘液生成増強作用」、「粘膜微小循環改善作用」などがあります。	胃・十二指腸潰瘍や急性胃炎による胃痛、胃酸過多、胸やけ
消化性潰瘍※には 胃酸の分泌を抑える 《H2 ブロッカー》	胃酸の過剰な分泌を抑えることで、胃の粘膜が傷つくことを防ぎます。塩酸ラニチジン配合薬、シメチジン配合薬、ファモチジン配合薬などがあります。	胃・十二指腸潰瘍や急性胃炎による胃痛、胸やけ、むかつき、胃もたれ

※消化性潰瘍が疑われる場合は、まず医師の診察を受けましょう。

激しい痛みがあるときや、2~3日飲んでも症状が改善されないとき、また服用をやめると症状が現れるような場合には病院にかかることをおすすめします。

胃腸薬を飲むときの注意点

〔H2 ブロッカー〕

H2 ブロッカーは胃酸の分泌を強力に抑えるため、胃酸過多による胃の痛み、胸やけ、胃もたれに効果があります。しかし、副作用もあることから「第1類医薬品」に分類されています。使用に際しては薬剤師に相談して下さい。一般に、以下のような人はH2 ブロッカーを使うのは控えます。

- 血液の病気、腎臓や肝臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息やリウマチなどの免疫系の病気にかかっている、医師の治療を受けている人
- ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤による治療を受けている人
- 貧血など血液の異常を医師から指摘されたことのある人
- 15歳未満の子ども、80歳以上の高齢者
- 妊娠している、または妊娠していると思われる人、授乳中の人

参考文献: 今日のOTC薬

お薬手帳があれば服用している薬との飲み合わせのチェックができますので、一般薬を購入するときもお薬手帳をお見せください。

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。

(お薬によっては時間がかかることがあります) あすなる武川薬局

TEL 0551-26-3800

FAX 0551-26-3810